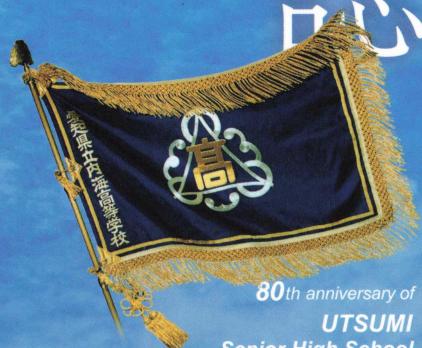


内海高校 創立80周年 記念誌



愛知県立内海高等学校

挨拶



80周年実行委員長
磯部 喜博

創立80周年を祝して

令和元年を迎え、愛知県立内海高等学校が創立80周年を迎えることができました。この場をおかりして、長年にわたり本校教育の発展にご尽力いただきました歴代の校長先生をはじめ、教職員の皆様方に敬意と感謝を申し上げます。そして、南知多町、美浜町の両行政の方々、PTA、同窓会、在校生さらに、地域の皆様とともに創立80周年を心からお祝いしたいと存じます。

本校は昭和14年、前身であります町立愛知県内海高等裁縫女学校として開設以来、幾多の名称変遷を経て昭和32年に愛知県立内海高等学校として独立・改称して以降、校舎の全面移転や篠島分校・日間賀島分校の開校、そして閉校と、さらに、本校の存続に関する問題といろいろな諸問題がありました。校長先生を中心に学校関係者や地域の皆さんのご努力により解決され、80年の歳月を迎えることができたことは、先人の努力の賜物と感謝しているところです。

現在、我が国はグローバル化の進展と本格的な少子高齢社会が到来しています。新しい時代に向けた学校教育の在り方、ただ単に新たな知識・技能を習得するだけでなく、学んだ知識・技能を実践・応用する力、さらには、自ら問題の発見・解決に取り組む力を育成することが求められています。とりわけ、自主的・自律的に考え、社会に新たな価値を創造し、より豊かな社会を形成することのできる人を育てていっていただきたい。それには、学校関係者だけの努力だけでなく、地域の皆さん方の力添えが必要です。幸いに本校では、1万余人の同窓生がそれぞれの分野で社会人としてご活躍されています。特に知多南部地域には、多くの卒業生が地域に根をはって活躍されていますので、生徒と地域の人たちとの交流を通じて、時代の変化に対応できる個性豊かな人づくりをお願いいたします。

生徒の皆さん方には、これから内海高等学校の新しい伝統を同窓生や地域の人たちと共に築いていただくことを祈念いたします。



第18代校長
谷川 勝彦

創立80周年を迎えて

令和元年という節目の年に創立80周年を迎えるにあたり、永年にわたって本校の発展に御支援・御協力を賜りました皆様に、一言御礼と御

挨拶を申し上げます。

本校は、昭和14年に町立愛知県内海高等裁縫女学校として開校以来、幾多の変遷を経て、昭和32年に愛知県立半田高等学校内海分校から独立し、現在の愛知県立内海高等学校と改称しました。昭和49年には、この地に移転して現在に至っていますが、昭和55年には篠島、日間賀島にそれぞれ分校が誕生しました。今までに12,000人を超える卒業生を輩出し、知多半島南部の産業・文化の根幹を支えてきました。

ところが、社会のグローバル化や情報化、少子高齢化が急速に進展し、本校を取り巻く環境も大きく変貌しました。平成元年からの複合選抜による入試制度の変更で、本校に入学てくる生徒の様相が大きく変化しました。地元生徒の減少や募集クラスの減少により、平成7年からは一学年3クラスになりました。さらに、平成13年3月末に日間賀島校舎、平成16年3月末に篠島校舎の閉校が続きました。また、平成13年に「県立学校再整備基本計画」が出され内海高校存続の危機が切迫しましたが、地域の方々からの御支援や当時の内海高校関係者の努力により、平成19年には内海高校の存続が正式に決定しました。

近年では、さらなる少子高齢化の進展により生徒募集は厳しい状況が続いているが、本校の特色である少人数教育により、生徒一人ひとりの進路希望に応じた丁寧な指導を粘り強く行っています。多くの生徒達が授業や部活動だけでなく、ボランティア活動や地域の行事にも積極的に参加しています。令和の新しい時代に創立80周年を迎えることに感謝しつつ、地域に愛され信頼される学校を目指し、地域と共生できる学校づくりに邁進して行く所存でございます。今後も変わらぬ御支援・御協力を願い申し上げます。

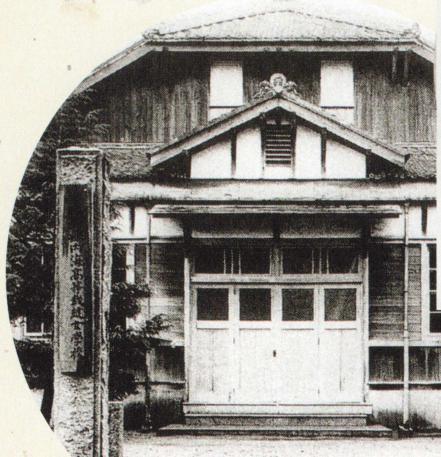
学校の沿革

昭和14年	3月30日 町立愛知県内海高等裁縫女学校設置	昭和52年	3月 8日 正門完成
昭和17年	3月12日 専攻科設置	昭和52年	5月25日 プール・同付属棟・体育クラブ室完成
昭和19年	3月31日 町立内海女子実業学校と改称	昭和52年	12月12日 中庭・前庭同窓の庭完成
昭和23年	4月 1日 町立愛知県内海高等学校(定時制)と改称	昭和53年	3月31日 玄関上家増築工事完成
昭和24年	4月 1日 愛知県立半田高等学校内海分校(定時制)と改称	昭和53年	12月 7日 前庭の築庭完成
昭和29年	9月30日 本館竣工	昭和54年	4月 1日 小鳩理作校長就任
昭和31年	8月31日 特別教室竣工	昭和54年	4月 1日 愛知県立内海高等学校篠島・日間賀島分校開設準備
昭和32年	4月 1日 愛知県立内海高等学校と改称し、和田 寿 校長就任	昭和55年	4月 1日 篠島分校・日間賀島分校開校
昭和33年	10月31日 普通教室竣工	昭和56年	3月20日 弓道場完成
昭和36年	12月20日 講堂兼体育館竣工	昭和56年	4月 1日 久松 健 校長就任
昭和37年	11月19日 大場正典校長就任	昭和60年	4月 1日 森下伊三夫校長就任
昭和39年	6月30日 普通教室竣工	昭和63年	4月 1日 間瀬 瞳 校長就任
昭和41年	4月 1日 高木領次校長就任	平成 3年	4月 1日 坂敬一郎校長就任
昭和43年	10月30日 運動場拡張工事完成	平成 5年	3月 5日 屋外更衣室完成
昭和44年	4月 1日 テニス・パレーコート等工事完成	平成 6年	4月 1日 稲葉龍夫校長就任
昭和44年	8月20日 校門・前庭等整備完成	平成 9年	4月 1日 森山 有 校長就任
昭和45年	4月 1日 加藤大二校長就任	平成12年	4月 1日 吉野 功 校長就任
昭和47年	4月 1日 学校全面移転決定	平成13年	3月31日 日間賀島校舎閉校
昭和48年	3月26日 整地工事着工	平成16年	3月31日 篠島校舎閉校
昭和49年	2月 1日 運動場表面仕上完了	平成16年	4月 1日 藤岡 豊 校長就任
昭和49年	3月31日 第一期工事完了(管理棟・普通教室・自転車置場等)	平成19年	4月 1日 北川壽比己校長就任
昭和49年	4月 1日 藤井敏子校長就任	平成21年	11月14日 内海高校70周年記念式典
昭和49年	5月24日 全面移転完了	平成24年	4月 1日 天野 透 校長就任
昭和49年	8月15日 武道場完成	平成25年	2月28日 本館棟・武道場・渡り廊下改修工事完了
昭和50年	3月31日 体育館兼講堂・バックネット・フェンス・クラブハウス完成	平成27年	4月 1日 富田 祐司 校長就任
昭和50年	6月16日 給水管布設工事完成(ポンプ室・受水槽)	平成29年	2月23日 教室棟改修工事完了
昭和51年	3月30日 普通教室等増築工事完成 (普通教室2室・体育館渡り廊下・体育準備室等)	平成29年	4月 1日 谷川 勝彦 校長就任
昭和51年	11月29日 弓道場完成	平成30年	11月21日 武道場改修工事完了
		令和 元年	11月 9日 創立80周年記念式典

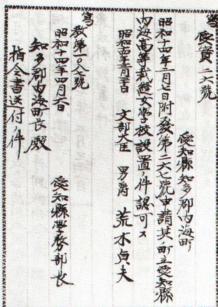


過去の記録・写真

創立期



正門・講堂
内海尋常高等小学校に併設されていた。



昭和14年3月30日
愛知県内海高等裁縫女学校
設置認可おりる。
(前身は青年学校であった)

地理の授業風景



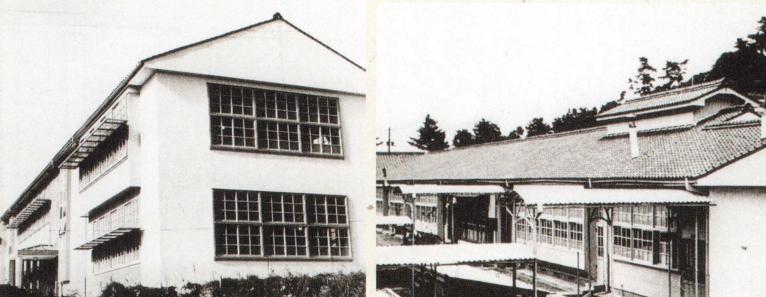
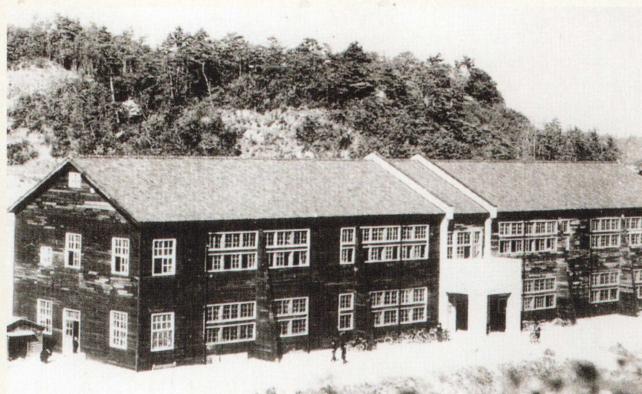
授業風景



昭和16年第二次世界大戦勃発
裁女に専攻科の設置が認められた文書と裁女から内海女子実業学校と改称された文書。

県立半田高等学校 内海分校時代

物資不足の折、河和海軍航空隊の旧兵舎を内海に移築して校舎として利用していた。



本館竣工
(昭和29年9月30日)



特別教室棟竣工
(昭和31年8月31日)



給食室竣工(昭和33年3月31日)

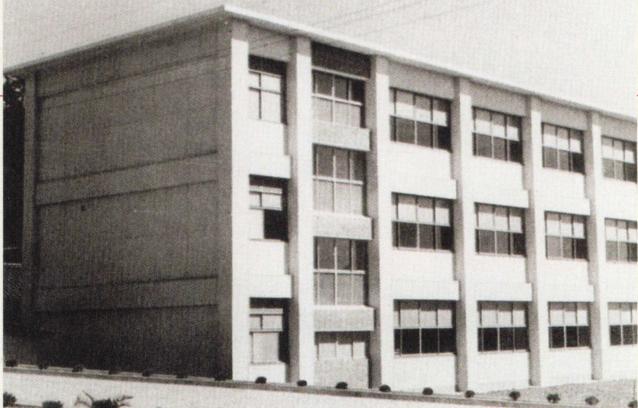
クラブハウス

柔道場

普通教室(10月31日)



昭和36年12月20日体育館竣工



昭和39年
鉄筋3階建ての普通
教室が完成。

移転前後

校地が狭いことや風紀上の環境悪化などから移転問題がもちあがってきた。

候補地としては名切地区があがつたが予算等の問題もあり、
県農業総合試験場内海ほ場の一部を移転先とした。

校舎の建築風景(昭和49年3月31日)



地鎮祭(昭和48年8月3日)



昭和55年4月3日
篠島分校開校式3・4階が高校、
1・2階が篠島中学校。



移転後から現在

ボランティア活動が昭和50年より始まる。
現在内海高校が特に力を入れている活動の1つである。

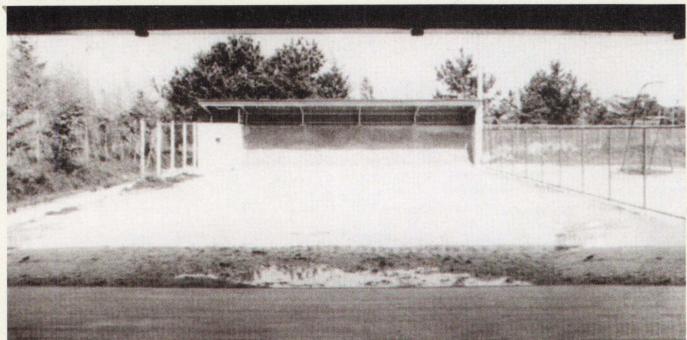


日間賀島分校開校



プールの完成(昭和52年5月25日)

弓道場新築(昭和56年)



現在の内海高校



内海高校の1年



4月 入学式



5月 遠足



6月 進路相談会



7月 夏の球技大会



8月 進路対策講座



9月 野外活動



9月 校外活動



10月 あいさつ週間



10月 文化祭



10月 体育大会



1月 修学旅行



3月 卒業式

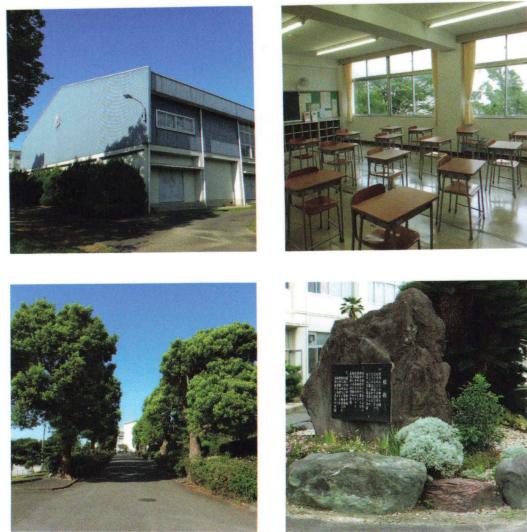


3月 冬の球技大会



通年 ボランティア活動





内海高校 創立80周年記念

*80th anniversary of
UTSUMI Senior High School.*

校歌

一、黒潮をどる 知多の崎
松のみどりも 色冴へて
尾の上に高く 澄む月の
清き伝統 築かむと

ここに集へる 若人の
誓ひは固し 我等が学園

二、田の面をわたる そよ風に
ゆるる穂波の 豊けくも

半島の南に 新しき

文化の華を 咲かすべく

朝夕に手を組みて

友垣睦ぶ 我等が学園

三、茜に匂ふ 伊勢の海

内海の浦に 寄る波の
間なく時なく 励まなむ

学の道は険しくも

共に力を 協せつつ

希望遙けし 我等が学園